日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	音楽基礎4

科目基礎情報

開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	4単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				

担当教員情報

担当教員	maliya、尾崎久美子、横山愛美	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン

学習目的

ボーカリスト、シンガーとしてのスキルを向上させる。1．正しい発声法を学ぶことにより、ピッチコントロールがうまくできるようになる。２．喉の筋肉を鍛え、喉や体の正しい使い方を学ぶことにより、長く歌っても枯れづらい喉を作る。３．リズムやグルーヴ、声の出し方などのニュアンスを学び、表現力を身につける。ボーカリストとしての成長は、基礎力の向上と共に、応用力も非常に大事である。魅力的なボーカリストになる為の、スキルを伝授していく。

到達目標

到達目標を細分化して学生に見えるようにし、日々、個々の段階に挑戦していく。日々の反復練習なくして、技術の向上はあり得ない。しっかりと個人練習の時間を取り、次回までに改善点を修正してくる。１．自分の問題点、課題を先生、友人からのアドバイス、または自身の動画などをチェックして、しっかりと理解する　２．その課題をいかにして克服していくか、その方法を考えて実践していく　３．それらの注意点を意識しながら、それぞれが目指すボーカリストに近付けるように実践をしていく　４．ライブステージでのパフォーマンス(歌以外の部分でも）も研究し、それを実践に生かす。

教育方法等

授業概要	この授業は基本的にはマンツーマンで、発生からそれぞれの生徒に合ったレッスン方法で指導していく。楽曲に関しては、基本的には生徒のやりたい楽曲で進めていくが、苦手な分野や克服したいポイントがあればその都度生徒に合った課題曲を一緒に考え、順次段階を追いながら指導していく。
注意点	生徒が持つ個性を大切にし、そこをどううまく活かしていくかを念頭に指導していく。授業時数の4分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価方法	種別	割合	備　考
	試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する
	小テスト	0%	
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する
	成果発表（口頭・実技）	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

授業計画（1回～15回）

回	授業内容	各回の到達目標
1回	レベルチェック	発表会方式で全員が一曲フルコーラスで発表していく。全ての講師陣からコメントをもらう
2回	ヒアリング	２年になって、卒業ライブの演目形態、及び今後について、方向性などを決める
3回	曲決め	卒業ライブの楽曲を決めて、レッスンに入る
4回	声の響き	より豊かに聴こえるように、他の響きを感じながら歌う
5回	声を飛ばす	声を飛ばすイメージを持つ
6回	音程の取り方	滑らかな音階で正確な音程を歌えるように実践する
7回	課題曲　洋楽	ソウルミュージックを課題に挙げ、乗りづらいいーとを研究
8回	洋楽の中で	裏拍をしっかり感じとる練習をする
9回	卒業ライブへ向けてのレベルチェック１	卒業ライブのリハをかねて、それぞれがフルコーラスで授業内に発表をする
10回	動画確認	それぞれの学生の課題を理解させ、克服に取り組んでいく
11回	ダンスをしながらの実践	実際にリズムをとりながら歌ってみる
12回	オリジナルの確認	オリジナル楽曲でライブに出たい場合はここで確認する
13回	卒業ライブリハ	２号館などで各自練習
14回	卒業ライブへ向けて	卒業ライブに向けて細かくブラッシュアップしていく
15回	卒業ライブ	全体のまとめ　ライブステージでフルコーラスを発表する